



シリーズ！ 地域自治区①

地域自治区・地域協議会制度

平成17年の14市町村による合併に伴い、合併前の町村の区域に地域自治区制度が導入されました。また、平成21年には合併前上越市にも15の地域自治区が置かれ、市内では28の地域協議会が地域の課題などについて協議を重ねています。

シリーズでは、4月に地域協議会委員が任期満了を迎えるにあたり、地域自治区と地域協議会やその取り組みについて紹介します。

▼問合せ：自治・地域振興課 ☎025・526・5111、内線1429



■ 地域自治区と地域協議会

自分たちのまちの課題を自身で解決していく「自治」。「町内会でのごみ集積所の管理」「隣近所での子どもたちの見守り」「グループでの草刈りや花植え」なども自治の一つと言えます。

市では、身近な地域自治を一層進めるための仕組みとして地域自治区制度を定めており、市内に28の地域自治区を設置しています。

各地域自治区に置かれている地域協議会は、地域の課題などについて話し合い、市長などに意見を述べることができます。

また、地域協議会の特徴として、市政に関する諮問事項のほか、自主的に決めたテーマについて審議し、

市に対して意見を述べることなど、地域に根ざした活動を行っています。

委員は議員や常勤の公務員などを除き、その地域自治区内で暮らしている25歳以上の人であれば、どなたでも応募することができます。

男女を問わず、幅広い年代の皆さんから地域協議会に参加していただくことで、さらなる住み良い地域づくりが進むことが期待されています。

■ 地域協議会の活動

地域協議会では、発足から平成27年11月末までに合計2480回の会議が行われています。

この間に市長から意見を求められた案件は1261件。また、地域協議会で自主的に審議された案件は276件あり、このうち144件について、市への提案や改善を求める意見書が提出され、その多くが市政に反映されました。

このほかにも、地域住民や地域で活動する団体などと意見交換を行い、身近な地域課題の把握に努めるなど、地域自治区内をより住みやすくするための活動を行っています。

※次回は、各地域自治区で開催される活動報告会の情報などを紹介します。

地域活動フォーラムを開催

平成27年12月13日、リージョンプラザ上越で「地域活動フォーラム」を開催しました。

第1部では首都大学東京大学の杉野教授が講演。焼酎づくりなどを通じた独自の取り組みを行う鹿児島県鹿屋市柳谷集落の事例などから、地域の課題を自分たちで話し合い、解決することの意義を語りました。

第2部では、市内の4団体が地域活動支援事業を活用した取り組みを紹介。

「八千浦地区海まつり」でステージイベントや飲食ブースの出店などに携わった中学生が「来年も多くの人で賑わい、今年



の来場者数を超えるイベントにしたい」と意気込みを語ると、会場から大きな拍手が送られました。